

## 埼玉県環境白書の刊行にあたって



本年初頭から新型コロナウイルス感染症が世界各地で猛威を振るい、本県でも予断を許さない状況が続く中、鋭意感染拡大の防止に努めています。私は一刻も早く県民や事業者の皆様の日常生活や経済活動における安心・安全を取り戻していきたいと考えています。

社会経済活動が厳しい状況にある一方で、テレワークやオンラインイベントといった新しい生活様式の普及など、結果として環境対策にもつながる社会経済の変化が起きています。

このような状況は、「グリーン・リカバリー」の考え方を取り入れて経済と環境の両立を目指していく好機と認識しています。

国連で平成27年に採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」は、環境、経済、社会の課題を同時に解決する世界共通の目標です。

県としても、「誰ひとり取り残さない、持続可能な発展・成長をする埼玉県」を実現するため、あらゆる主体がワンチームで取り組んでいく「埼玉版SDGs」に積極的に取り組んでいます。

また、今年3月に地球温暖化対策実行計画（第2期）を策定し、温室効果ガスの人為的排出と吸収を均衡させた「脱炭素社会」の実現に向け取組を進めています。

世界に目を転じると、近年、海洋プラスチックごみ問題が大きく取り上げられています。海のない埼玉県ですが、決して他人事ではありません。今こそ私たち一人一人の問題としてとらえ、総力を挙げて取り組んでいくことが必要です。

この「埼玉県環境白書」は、本県の環境の状況と環境の保全や創造に関する施策の進捗状況を取りまとめたものです。この白書をきっかけに、多くの県民の皆様が環境問題に対する理解を深められるとともに、環境の保全・創造活動に取り組まれる際の一助となれば幸いです。

今後とも、皆様の御支援と御協力を心からお願い申し上げます。

令和2年12月

埼玉県知事 大野 元裕